

【公 表】 事業所における自己評価結果

事業所名	児童ルームたちっキッズ鳥栖中央
------	-----------------

公表日 令和 7 年 11 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動毎に部屋分けや机の移動によりスペースの確保を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用状況や特性等に合わせて規定に沿った人員の配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	収納やおもちゃ等にはテブラを貼り、席や棚には利用者の名前を、スケジュールはホワイトボードに記載し、主体的な行動が出来るよう配慮をしている。	バリアフリー化に関しては事業所内の活動において該当する児童（バリアフリーを必要とする児童）の在籍はなく、階段等は手すりで充分であり、今後増えてくるようであれば検討をしていく。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。 また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日清掃を行いながら清潔な空間を心掛けております。また、活動内容に合わせて机等の移動を行い、スペースの確保をしております。	
	5	必要に応じて、 こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別の部屋はありませんが、パーテーションの使用や廊下のスペース、手洗い場、2階等を状況に応じて使用しております。	1階共有スペースに関しては、個別での使用が難しい場合もある為、日によって案内する場所を工夫しながら支援しております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか。	7	0	朝礼及び終礼、また都度のミーティング等を行い目標設定と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表や面談時等に把握する機会を設けており、内容を業務改善に繋がれるよう心掛けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ミーティングや朝礼終礼、また、都度の話し合いの場や反省の場を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	外部による第三者評価は行ってはいないが、外部評価の無い状態でも適切な運営がなされるよう努めております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、 研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	所内研修については定期的に行われており、所外研修については自由に参加が認められているため、職員のスキル向上に繋がっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムの内容については、見学時の説明やホームページ上、またお便り等にも掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントを行い、課題やニーズの達成に向けて客観的に分析を行い、計画作成を行っております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、 児童発達支援管理責任者だけでなく、 こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、 こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	計画作成の上で、アセスメント、作成案の共有を行い、適切な検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画完成後、再度共有を行い、全体で計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	フォーマル及びインフォーマルなアセスメントを行い、総合的に評価判断を行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿って、一人ひとりに必要な支援を想定しながら、適切な内容設定に努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	ミーティングや朝礼、また都度の会議等、必要に応じて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	同じ活動項目の際には内容を変える、またその日の利用者様に合わせた内容になるよう努めております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者様の特性や課題、ニーズに合わせて、個別と集団を使い分けながら支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日朝礼や活動前に内容の確認を行い、役割の分担、連携を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	当日に振り返りを行い、申し送りノート等を活用し当日出勤ではなかったスタッフ等にも共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援内容や様子等を記録に残し、反省を踏まえて改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを行い、利用者様の状況等に合わせて適宜修正や見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	ガイドラインに沿って複数の要素を組み合わせながら支援を行っています。	「地域交流」については今後の課題となるため、徐々に参加や交流の場を増やしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	項目3と同様に基本的には自身で選択できるような環境設定を行い、分からない部分等は本人が考える為に必要な情報の整理を一緒に行い、自立に向けた支援を行っております。	
関係機関や保護者の連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	利用者様の状況をよく理解したスタッフが参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保健や医療等に関しては保護者様を介して行っている場合もございます。障害福祉、保育、教育等関係機関につきましては、情報共有の場に参画及び必要に応じた電話連絡等を行い、連携を進めるよう努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校の送迎時で情報の共有を行っています。また、日によっては利用者様の身近な先生などに会えないこともある為、必要に応じて電話連絡等を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	相談支援事業所や児童発達支援事業所からの情報提供並びに、希望された保護者様の移行支援会議等に参画し相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	移行支援会議等に参画し、事前に情報提供を行っています。また、会議がない場合等で情報の提供を必要とされる際に保護者様や相談支援員を介して共有を行う場合もあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	必要に応じて研修等を受け、その後情報共有等をスタッフ間で行っています。	直接的に連絡を取り合う頻度が多くはないため、密な連携をとっていききたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	他事業所との交流は機会が増えてきているが、地域の他の子ども達と交流する機会は設けられてはいない状態。	地域施設等との連絡や交流の手段を検討していく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	自立支援協議会等に参画し情報の確認及び参画した同業他社との情報交換等を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	主に送迎時での情報共有等を行っており、必要に応じて連絡帳、電話連絡を通して共通理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者面談や保護者交流会を通して情報提供等を行っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行い、契約後も質問があれば必要に応じて説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	日頃の様子の共有やアセスメントを通して意向等の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	内容を一緒に確認しながら説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談等に対して、必要に応じた助言や支援を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者交流会を行い、関わりを持てる機会を設定しています。	開催日時や内容を細かく練り、改善していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	事業所内で共有をし、迅速な対応を心掛けています。また、反省をし再発防止に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	お便りやマチコミ、HP等にて活動概要やイベント等の案内を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	充分に注意をし、必要外の開示はせず、書類等は鍵付きの保管場所へ移動しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	必要に合わせて言語的、非言語的コミュニケーションを使い分けながら支援をしています。	
非常時の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	防犯や個人情報等秘密保持の観点から、地域住民等の招待はしていません。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルについて、定期的に訓練を実施して非常時に備えております。また、マニュアルは事業所内玄関にて、いつでも閲覧可能となっております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	計画作成を行い、計画を基に災害時等の想定をした上で避難訓練や経路確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	フェイスシート及び面談や聞き取り等にて確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	まずは、アレルギーの食物を提供しないことを徹底しており、医師の指示書があるお子様に関してはスタッフ間で共有しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	計画を基に安全管理及び対応の研修訓練、支援を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	事故、怪我、疾病等の症状が出た際の連絡、非常時の避難所等の周知を契約時に、必要に応じて内容を都度お伝えしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	何かあればヒヤリハットを作成し、共有及び再発の防止に取り組んでおります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修を設け、スタッフ一同、意識をした対応をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必要に応じて説明をしています。	